

YAMAHA
SDS
SOUND DEVICE SERIES
MASTER SELECTOR MS-100

取扱説明書

SDS SOUND DEVICE SERIES

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズは、単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせる際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたエフェクトユニットです。

複数のユニットを組み合わせるためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに応えるために、特にこれらの点を重視して、このサウンド・デバイス・シリーズを開発いたしました。

YAMAHA

ヤマハ株式会社

LM営業部

ギター・ドラム営業課

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)2431

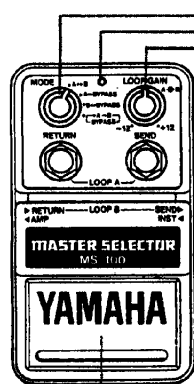
1. MASTER SELECTOR

マスターセレクター

本機は、「A」および「B」の2系統のエフェクトループの切り替えを、自在にフットコントロールできるループセレクターです。モード選択機能の搭載により、接続を変更することなく4種類の切り換えパターンを選択することができます。カラーLEDの採用により、選択されているループが一目で確認できます。また、各ループにはループゲインコントロールを装備していますので、「A」、「B」独立して±12dBのレベル設定が可能です。このループゲインコントロールを利用して、ラックタイプのエフェクターとの接続時のレベル補正や、ブースターアンプ、ソロとバックアップ時のボリュームプリセットなど、色々な応用が可能です。

2. Function

各部の機能



MODE つまみ

エフェクトループの切り換えモードを設定するつまみです。

A ↔ B … A ループと B ループが交互に切り換わります。

A ↔ BYPASS … A ループとバイパスが交互に切り換わります。

B ↔ BYPASS … B ループとバイパスが交互に切り換わります。

A → B → BYPASS … A ループと B ループとバイパスがローテーションで順次切り換わります。

LOOP GAIN つまみ

「A」、「B」各ループのセンドレベル（送り出しレベル）を設定するつまみです。内側のつまみが A ループ、外側のつまみが B ループに対応しており、独立して設定できます。各つまみとも右に回すほど音量が大きくなり（最大：+12dB）なり、左に回すほど音量が小さくなり（最小：-12dB）なります。

エフェクト フットスイッチ

エフェクトループの切り換えを足元で行うためのフットスイッチです。

エフェクトインジケータ

ループの選択状態と電池の有無を確認することができます。A ループが選択されている場合は赤、B ループが選択されている場合は緑が点灯します。暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい電池と交換して下さい。

MASTER SELECTOR MS-100

「A」、「B」各ループのセンドレベル（送り出しレベル）を設定するつまみです。内側のつまみが A ループ、外側のつまみが B ループに対応しており、独立して設定できます。各つまみとも右に回すほど音量が大きくなり（最大：+12dB）なり、左に回すほど音量が小さくなり（最小：-12dB）なります。

エフェクト フットスイッチ

エフェクトループの切り換えを足元で行うためのフットスイッチです。

3. Connection

接続の方法

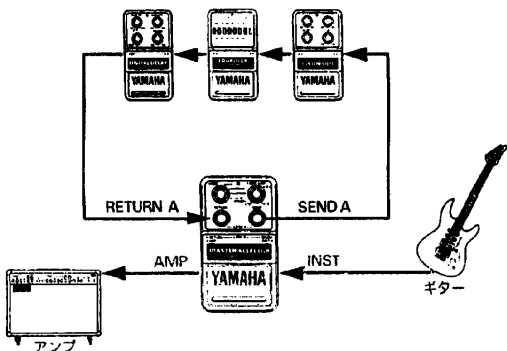
1. 付属の乾電池をセットするか（「電池交換」の項を参照）、または別売の専用 AC アダプター（YAMAHA AC-05 ¥1,500, AC-320 ¥8,500）を接続してください。長時間の使用が考えられる場合は専用 AC アダプターの使用をおすすめします。
2. INST ◀ ジャックに、楽器を接続してください。プラグを差し込むと自動的に電源が入ります。
3. アンプまたは次のエフェクターの IN ◀ ジャックと、本機の ◀ AMP ジャックを接続してください。
4. 使用目的に合わせて各ループの SEND ジャック、RETURN ジャックにエフェクターを接続します。
5. フットスイッチを踏むと、ループの切り換えができます。

〔注意〕

- 本機の入出力端子は、ELAJ規格 RC-6701A に適合しています。規格外のプラグを使用した場合、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。
- 本機を使用しないときは、INST ◀ ジャックからプラグを抜いておくよう心がけてください。プラグを差した状態は（電源 ON の状態のため）、電池の寿命が短くなります。プラグを抜くときはアンプの電源を切ってから行ってください。

1. ループ・セレクター（1ループ）

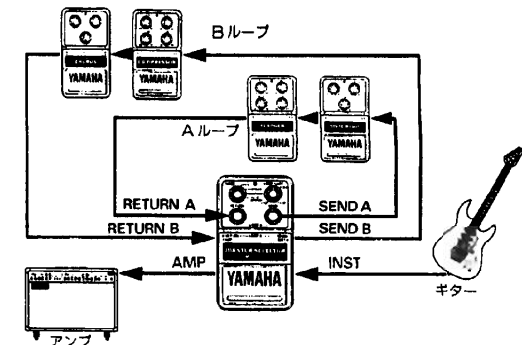
2 台以上のエフェクターを同時に ON/OFF するのに最適です。クリーンサウンドのバックিংから、ディストーション+イコライザ+ディレイのソロへと、ワンアクションで切り換え可能です。



1. A ループのエフェクターの IN ジャックと本機の SEND A ジャックを接続します。
2. A ループのエフェクターの OUT ジャックと本機の RETURN A ジャックを接続します。
3. MODE つまみで、A ↔ BYPASS を選択します。
4. フットスイッチにてループの切り換えを行ない、LOOP GAIN A つまみにより、切り換え時の音量を設定します。

2. ループ・セレクター（2ループ）

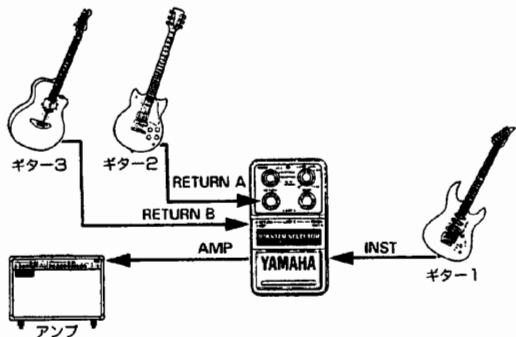
2 ループ仕様により、3 種類のサウンドをワンアクションで切り換え可能にします。クリーンサウンドのカッティングから、ディストーション+フランジャーのリードソロ、コンプレッサー+コーラスでエンディングへなどと、複数のエフェクタをより効果的に、しかも、簡単に活用できます。



1. A ループのエフェクターの IN ジャックと本機の SEND A ジャックを接続します。
2. A ループのエフェクターの OUT ジャックと本機の RETURN A ジャックを接続します。
3. B ループも A ループと同様に接続します。
4. MODE つまみにより、切り換えモードを選択します。
5. フットスイッチにてループの切り換えを行ない、LOOP GAIN A, B のつまみにより、切り換え時の音量を設定します。

3. インプットセレクター

曲の途中や、曲の間での楽器の持ち換えが、わずらわしいシールド線の抜き差しなしでスピーディに行なえます。



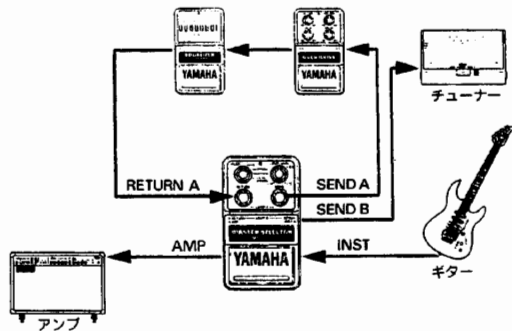
1. 本機の RETURN A にギター 2、RETURN B にギター 3 を接続します。
2. MODE つまみにより切り換えモードを選択します。
3. フットスイッチにて切り換えを行ないます。

(注意)

- この接続の時は、LOOP GAIN つまみを回しても音量は変わりません。LOOP GAIN つまみは SEND ジャックより出力される音量を設定しています。
- 本機はアウトプットセレクターとしては使用できません。回路構成の仕様により SEND A、SEND B ジャックには、選択されているループにかかわらず常時信号が出力されています。

5. チューナーとの接続

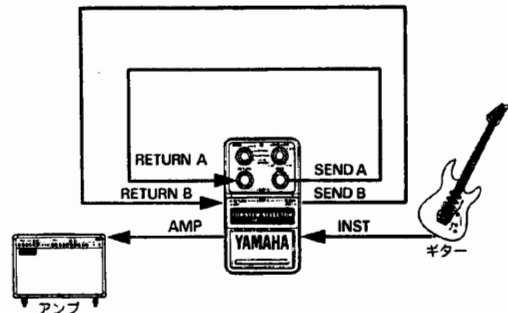
RETURN ジャックに何も接続されていないループを選択した時はボリュームを絞った状態になります。この時、SEND ジャックには信号が出力されていますので、ここにチューナーを接続すれば、音を出さずにチューニングすることができます。



1. A ループのエフェクターの IN ジャックと本機の SEND A ジャックを接続します。
2. A ループのエフェクターの OUT ジャックと本機の RETURN A ジャックを接続します。
3. SEND B ジャックにチューナーを接続します。RETURN B ジャックには何も接続しません。
4. モードつまみにより、切り換えモードを選択します。
5. フットスイッチにてループの切り換えを行ないます。B ループを選択すれば、音を出さずにチューニングすることが出来ます。

4. ボリュームプリセットアンプ

ソロとバックアップ時の音量補正やギターアンプのドライブを変化させる時などに、LOOP GAIN つまみを利用してボリュームプリセットアンプとして用いれば、ギターの微妙なボリューム操作にわずらわされることなく、安定したレベルを得られます。



1. 本機の SEND A と RETURN A を接続します。
2. B ループも A ループと同様に接続します。
3. MODE つまみにより、切り換えモードを選択します。
4. フットスイッチにてループの切り換えを行ない、LOOP GAIN A、B のつまみにより、切り換え時の音量を設定します。

4. Battery Change

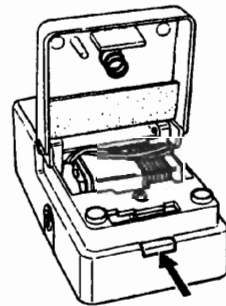
電池交換

エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は新しい電池と交換してください。電池を交換してから点灯しなくなるまでの時間(電池寿命)は、温度、電池の種類、使用状態などによって異なります。

使用電池：9V 乾電池 6F22(S-006P)

1. エフェクトフットスイッチ手前のオープンボタンを押すとペダル部が開きます。
2. 古い電池を取り外し、同じ規格の新しい電池 [6F22(S-006P)] をセットします。
3. ペダル部を「カチッ」とロックされるまで押しつけて閉じます。
このとき、電池コードをペダル部にはさまないように注意してください。

※電池を長時間使用しない場合には、液もれによる故障を防ぐため取り出しておいてください。



5. Caution

ご注意

1. 電池を長持ちさせるため、使用しないときは必ず入力側 (INST ◀) ジャックからプラグを抜いてください。
2. 入力側ジャックにプラグを差し込んでフットスイッチを踏んでも、エフェクトインジケータが暗い場合や点灯しない場合は、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
3. 電池の液もれによる故障を防ぐため、長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管しておいてください。
4. ACアダプターは、専用のYAMAHA AC-05 (¥1,500)、AC-320 (¥8,500) をご使用ください。他のACアダプターを使用された場合、故障の原因となることがあります。
5. ギターアンプなどの電源を入れたままでエフェクターのプラグを抜き差ししないでください。ギターアンプなどの故障の原因となります。
6. この取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管してください。

7. After Service

アフターサービス

1. アフターサービス

保証期間中に万一事故が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

2. 保証期間

ヤマハ SDS シリーズ製品の保証は、ご購入日 (保証書による) より満1ヵ年 (現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は国内のみ有効) と致します。

3. 保証期間後のサービス

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

6. Specifications

仕様

- 入力インピーダンス : 1 M Ω (INST, RETURN A, RETURN B)
- 出力インピーダンス : 2 K Ω 以下 (AMP, SEND A, SEND B)
- 定格入力レベル : -20dB (0 dB = 775mV)
- 定格出力レベル : -20dB (0 dB = 775mV)
- 最大入力レベル : +6 dB (0 dB = 775mV)、LOOP GAIN at flat
- 最大出力レベル : +6 dB (0 dB = 775mV)、LOOP GAIN at flat
- ノイズレベル : IHF-A、-100dB以下、(0dB = 775mV)、入力ショート、LOOP GAIN at flat、LOOP ショート
- 周波数特性 : 20Hz~50KHz ± 3 dB、LOOP ショート
- ゲインコントロール (LOOP GAIN) : ± 12 dB連続可変
- ファンクション : MODE、LOOP GAIN A、LOOP GAIN B
- 端子 : INST、AMP、SEND A、RETURN A、SEND B、RETURN B
- 消費電流 : 25mA (DC 9V)
- 電池寿命 : 連続使用約5時間 (付属乾電池使用時)
- 電源 : 9V乾電池 6 F22 (S-006P)、専用ACアダプター AC-05、AC-320
- 寸法 : 70mm (W) \times 61mm (H) \times 126mm (D)
- 重量 : 465g
- 付属品 : 9V乾電池 6 F22 (S-006P) \times 1

*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

- 東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
- 新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークールビル2F) TEL (025) 243-4321
- 大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
- 四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店内) TEL (0878) 51-7777、22-3045
- 名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL (052) 652-2230
- 九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4TEL (092) 472-2134
- 北海道電音サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL (011) 513-5036
- 仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市卸町5丁目7(卸商共同配送センター3F) TEL (022) 236-0249
- 広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
- 浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-6711
- 本社
- 電音サービス部 〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-1158

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。